#### 本日のプログラム

例会 第 2741 回

- 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング
- 3.ビジター紹介
- 5.会食
- 6.会長挨拶
- 7.幹事報告

8.出席報告 1

10.卓話:深澤昌光君

9.スマイルBOX 11.閉会点鐘

## 例会の予定

・11月9日(金) 卓話: 髙杉尚男君

·11月23日(金)祝

・11月30日(金)

卓話:高知尾朝行君

・12月7日(金)

卓話:室伏 学君



第 2780 地区 第 9 グループ

# 湯河原 ロータリークラブ

会長 石田 浩二 幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 湯河原町宮上 566 湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

#### 会長挨拶

先週は「ガバナー公式訪問」に於いて、懇談会・クラブ協議会・懇親会と長時間に渡り、みなさまのご協力

のもと 100%の出席率で無事開催することが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。 有難うございました。

懇親会に於いては、脇ガバナーがフルートを披露して頂き、和やかな団欒になりました。 また、脇ガバナー、中谷ガバナー補佐、小田原ロータリークラブ高木会長から、沢山の お褒めのお言葉を頂戴し、私も公式訪問において、会長の大役を無事納めることが出来、 少し肩の荷が下り安堵しております。

さて、11月は「ロータリー財団月間」5日~11日は「世界インターアクト週間」です。 スローガンは「世界でよいことをしよう」と掲げております。

具体的行動は当クラブでは中々取り組めておりません。

脇ガバナーも仰っておりましたが、「地区補助金」などを利用して、財団委員長の山本明峰会員とともに、是非来年の平間会長へと今から具体的策を計画していきたいと思っております。

どうぞみなさまのお知恵をお借りしたいと思いますので、何卒ご協力の程、よろしくお願いいたします。以上で会長挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

#### 幹事報告

<国際ロータリー日本事務局より>1. 11月のロータリーレート 1ドル112円 <ガバナーより>1. 公式訪問のお礼状が届きました。

<第9グループガバナー補佐より>1. 公式訪問のお礼状が届きました。

<連絡事項>1. 12月4日(火)18時30分より「うおき」にて有志による忘年 懇親会を開催致します。

## スマイル BOX

(11/1~~8)

- ・会員誕生日 石倉幸久君(11/7)
- ・ご夫人誕牛日 西山敦君(徳子様・11/3)
- ・深澤昌光君

10月30日(火)湯河原小学校6年生73名との「菜の花の種まき」ですが、天候にも恵まれて、楽しく行うことができました。ご参加有難うございました。来年春の菜の花が千歳川に咲き乱れることを期待しております。また、宮下第3分団に新しい消防車が配備されました。

• 櫻井武志君

ゆがわらハロウィン2018ご協賛頂きありがとうございました。大盛況に無事 に行う事が出来ました。ありがとうございました。

・苅谷和彦君 ロータリーバッチを忘れました。

	出席報告	ゲスト	0名 ビジター 0名	会員24名
		欠席	6名(免除者2名)	前回の修正出席率 100.00%
		出席率	81.82%	前々回の修正出席率 91.30%

事前メークアップ 1名



平成30年11月2日(金)

天候 曇り

合唱 君が代

我らの生業 四つのテスト



国際ロータリー2018-19 RI 会長 バリー・ラシン

第 2780 地区 ガバナー 脇 洋一郎

#### 四つのテスト

- 1.真実かどうか
- 2.みんなに公平か
- 3.好意と友情を深めるか
- 4.みんなのためになるかどうか



インスピレーションになろう

### 土肥氏の時代

治承4年(1180)8月17日、平清盛の政権全盛のもとで、伊豆蛭ヶ島に流されていた源頼朝が源氏再興の旗挙げをして、伊豆国目代であった山木郷の平兼隆を討ち、その勢いで鎌倉を目指して土肥實平を頼り、23日には城願寺の柏槙の前を出陣した。

しかし、大庭景親の率いる関東平氏の大軍に、石橋山で敗れた頼朝らは、北から押し寄せる大庭軍と南からの伊東祐親軍に挟まれる中、28日に真鶴の岩ノ浦から房総に向って舟出するまでの5日余を、箱根外輪山の南一帯の峰や谷を渡り、洞窟に隠れるなど九死に一生を得る逃避行を続けた。気弱になる頼朝を庇護したのは、土肥實平と妻ら一族であった。

舟出後、頼朝と6人の武将は安房国に上陸、下総国から武蔵国へ、次々と関東の武将を味方に付けながら相模国鎌倉に入った。實平・遠平父子は頼朝を支え、源義経のもとで、富士川・三草山・鵯越・屋島の合戦の平家追討中に、實平は山陽道備前・備中・備後の総追捕使に、壇ノ浦での平家滅亡後には、長門・周防の総追捕使に任ぜられるなど、頼朝の信頼は厚いものがあった。鎌倉幕府成立後も、奥州平泉の藤原氏征伐にも功をあげて、安芸国沼田荘を領有して赴任したが、建久元年(1190)には逝去し、遺骸は鎌倉へ運ばれ頼朝と対面した後、遺言により土肥郷へ葬られたという。

あとを継いだ遠平は、本領の土肥郷を嫡男の先次郎維平に土肥宗家として所領を相続させ、下った沼田荘では、平賀 義信の子を養子に迎えて小早川景平と名乗らせて相続させることにした。

しかし、建保元年(1213)、血縁関係にあった和田義盛の乱で、惟平が和田軍に加わり処罰されたが、遠平は戦いに無関係とされ、土肥郷と沼田荘を引き続き所領とした。遠平は、建久十年の頼朝逝去により仏門に入り道慶と号し、逝去したあと、遺骸は土肥に送られ葬られたという。(實平・遠平の生没年・場所・墓には異説がある) この後、土肥實平・遠平・維平と続いた土肥宗家は、鎌倉幕府の政権から遠ざかり、越中・出羽など各地へ離散していき、安芸国の大名で豊臣秀吉の五大老となる小早川氏に、武家政治創世を担った名族としての家名が伝わることになった。







